

神石協働支援センターだより



2021年9月号
発行：神石協働支援センター

〒729-3511
神石郡神石高原町高光2117番地10
TEL 0847-87-0331
FAX 0847-87-0331
E-mail: j-kyoudou@sky.kagayakinet.ne.jp
ホームページ: https://jinseki-kyodo.com

神石のひと

農業法人
高原の里まき 勤務

くまがい ゆういち
熊谷 祐一さん



農業法人高原の里まきにお勤めの熊谷祐一さん。神石や農業への思いなどを静かに、熱く語ってくださいました。

ずっと神石で 農業を続けたい

でいに農し手で
もとな業た伝子実
、思るは。いと家
生う仕決今をもが
きん事しのの兼
てででて時頃業
いすはお代いか農
く。な金、まら家

Q. 農業の魅力って
なんですか？

年就話ア研てし研
目職なル修神て修大
にしなバが石も先1
なして、イトにらと年
なり今、ト来っしの
ます。卒業まてし時
。4後世もた初紹
。4後世もた初紹

Q. 初めて神石を
訪れたのは？

たでりが1ま大に来農なの
気もま10日すきは。作ん僕
候そす度の。く寒や物では
のう。以寒神影暖。のすの
場い県上暖石響差色。が出島
所っ内あ差はしが。出、身

Q. 神石を選んだ
理由は？

うえで絶対必要
なもので、そこに魅力
を感じ、そこに必要
なものを持ちたい
と思っています。農業を
したいです。



ドローンを操縦し防除作業をする熊谷さん

れがる非業でたしン
てた。常法は農たでこ
いく。に人、業。防の
まさ助が。ア昨除日
しんいかあ牧ン年作は
た寄うるにケ実業ド
。せ意てのは1施中口
ら見いで農トしで1

ててすあてとでまるり
いいと限いやはしこと神
まきと農りすせ気。もは石
すた農、。てあでよ、来
。い業、。てあでよ、来
とを神仕もいも、怒た
思や石事らあ、あらば
っでがっい今

Q. 将来の希望は？

在く。と本谷にかしに指と長て自しりはしてに
のて熊牧話当君なりて任導、し動分てなま就たう熊農
よは谷のさにかっ頼、せはあてけでいいだ職。か谷業
うなく農れよ来ても今てせえもる考たよ若間。がさ法
でらん業まかていしでいすてら人え。うくも。っん人
すな。法し。くるいはた自過い間判しな少なてにの
。いは人たたれ。存す。主剰たに断か気しいみつ方
存なに。て熊在っそ性ない成ししが頼頃まい々

平和の千羽鶴運動 折鶴献呈



みなさんからお預かりした千羽鶴
123,000羽をヒロシマへ届けました!!

し訪いし職ま平一ま献で参の像念千援も
たれ世戦た員し和般例し呈に加住今に公羽セ町8
。る界争。のた公の年た。るいたの度呈のをタ419
こがとみ。が園方。こ数だ皆はし原広1つ日(木)今
を日口。献セ訪と。とのきさたま爆島の平届協働
祈もナ。呈ンれ一学。が折、んくしの子、和い働
り早がし。し。タて緒生。で鶴今にさ。の。の記た支
まくなま。い。に。き。をま。ごん。の。の記た支



神石地区の皆さんで作った千羽鶴46,000羽をおさめるセンター長

地域の団体等の活動の支援

神石協働支援センターには神石地区の団体等が自ら行うまちづくり、人づくりのための「協働のまちづくり事業」という助成金制度があります。「ビーフ天国」や「夏まっさかり!」はこの助成制度を利用し開催されています。活気のある地域づくりのためにご利用ください。

詳しくは神石協働支援センターへお問合せください。

8月幹事会採択事業

申請団体名	事業名
田頭自治振興会	田頭ふれあい広場椅子・ベンチ、集会所入り口踏み台等改修 申請額 241,000円

過去の申請事業の一部

申請団体名	事業名
神石地区高齢者介護研究会	やまなみ劇団人情時代劇「伊那の勘太郎」
神石小学校6学年	神石スマイルカレンダーを作ろう
牧自治振興会地域づくり部会	まきのなつやすみ～田舎のよくばり遊び体験
ながの村自治振興会	「ながの村今昔物語」印刷製本配布事業

協働のまちづくり助成金事業

子ども交流会の開催には会場
の整備や運営にた
さん、皆さんの
皆さんや3人の
うございまして。